第３回貿易論　「貿易論解題」

1. 貿易論の課題

○実物理論

* なぜ貿易が行われるか　　⇒貿易原理：自由貿易vs.保護主義
* 輸出入されるものは何か　⇒貿易構造
* 国際市場での価格は　　　⇒価格理論＝ミクロ経済学
* 貿易量はどのくらいか　　⇒通商問題（貿易摩擦）
* 貿易による影響　　　　　⇒WTO、FTA、セーフガード、関税政策、補助金

○貨幣理論

* 貿易決済の仕組み　　　　⇒貿易商務論－インコタームズ
* 貿易による資金循環　　　⇒貿易の永続性－国際収支
* 外国為替レートの決定
* 為替リスク回避

○貿易政策

* 政策手段とは　　　　　　⇒関税、非関税障壁（NTB）、補助金ｅｔｃ
* 政策が貿易諸変数に及ぼす影響
* 政策目標の正当性
* 貿易政策による負の効果
* 政策比較
1. 世界を見る眼
	1. 統計で見る世界経済
	2. 誤解と誤謬、思いこみの排除
	3. 歴史的変化、時系列分析の必要性
	4. 多角的視座
	5. 政治／軍事
	6. 経済
	7. 文化／宗教／民族
	8. 科学技術
	9. ビジネス
2. 世界経済と多国籍企業
	1. 今日の世界貿易は，世界総生産の約25％を占めている，といわれている。
		* 2013年世界国内総生産額 75,471（10億ドル）
		* 2013年世界の貿易額　 18,283（10億ドル）24.2%

 (データ出典　JETRO）

* 1. 世界貿易の約60％は、先進工業諸国によって占められている。
		+ 2013年　先進国の貿易額　10,909（10億ドル） （60%)

(データ出典　JETRO）

* 1. 世界総生産の約３分の１以上は、多国籍企業によってなされている。
		1. FORTUNE GLOBAL500 売上高12,500（10億ドル）：世界GDP比16.5％
		2. 世界貿易の半分は、多国籍企業によってなされているといわれる。
1. 国際ビジネスの研究課題
2. 自由貿易が効率的である理由及び国際貿易に従事している企業の活動メカニズム
3. 関税が非効率である理由と企業の対応　⇒非効率性＝ナショナル・コスト
4. 対外直接投資(FDI)が発生する原因　　⇒市場の不完全性、環境的制約要因、

⇒多国籍企業（ＭＮＥ）の成立要件

1. 輸出、ライセンシング、FDIの選択　　⇒外国市場参入理論
2. FDI規制
3. 外国為替レートに対する企業の対応
4. MNEが生産、マーケティング、財務及び人的資源の活動を効率的に展開する方法
5. 国際ビジネスの分析枠組み
* 国際ビジネスの分析ファクトは何か
* 企業の付加価値活動とは
* 企業系を取り巻く環境要因
* グローバル競争の変化
* 世界経済の認識
* グローバリズムとリージョナリズム
1. 国際ビジネス活動の構図

(1)　企業特殊的優位

* 企業が所有あるいは利用可能な内部資源。
* 具体的には、資本、技術ノウハウ、製品・サービス、人材、情報などを指す。
* 企業は、それらの所有優位をグローバルな視野にたって効率的に利用し、その商業的（営利）目的を達成する。
* Firm Specific（Ownership）Advantages=FSAあるいは企業特殊的優位ともいう。

(2)　国家特殊的変数

* 国々がもつ土地、天然資源、人口（労働）などを指す。
* それら要素の賦存状況（豊富にもつか、希少であるか）によって、比較優位が異なる。
* したがって，「変数」である。
* 今日では、伝統的な要素に加えて、その国で創造された資産もこれに含まれる。
* Country Specific（Location）AdvantagesあるいはVariables=CSAという。
1. ビジネス＝企業経営活動とは
* Ｍ．ポーター：「付加価値活動の連鎖である。」
* Ｒ．ファーマー：「インプット・アウトプット活動である。」





1. グローバル競争戦略
2. グローバル競争の時代とは、激変の時代である。

⇒　未曽有のスピード、空間的拡張、大量、変質

* Turbulence=乱気流（ルールなきルール）、すなわち新しいルールのもとでの競争の時代！
1. 想定外の…
	* リーマン・ショック：“Too big to fail bank”の誤謬
	* ギリシャ・ショック：財政破綻－デフォルト⇒ソブリン・ショック
	* 原油の価格変動：アラブの春、ISIS、シリア情勢、シェールオイル、投機マネー…
	* 食料の価格変動
	* 東日本大震災：サプライチェーンの見直し、電力危機⇔脱原発
	* トランプ大統領の登場
	* 日中関係：反日デモ、尖閣・南沙諸島問題、一帯一路、AIIB（アジア開発投資銀行）
	* EU問題－BREXIT、スペイン・ポルトガル危機、難民問題
	* ロシア問題－クリミア併合
	* 中東情勢
2. 何が起こるかわからないまさかの時代：ポスト・バブルで崩れた３つの神話

　１　株・土地は下がらないという神話

　２　消費は常に拡大するという神話

　３　日本的経営の３種の神器といわれた終身雇用､年功序列賃金､企業内労働組合、

および完全雇用、ＪＩＴ生産方式は磐石だという神話

1. 変化をもたらした７つの要因
	1. グローバリゼーション（国際化）
	2. 製品ライフサイクルの短縮化
	3. 技術革新の加速化
	4. 技術普及（伝播）の迅速化
	5. 競争の激化と多様化
	6. 産業のボーダレス化
	7. 規制緩和

# 二律背反、お互いに矛盾することが同時に起こり、要求される時代！！

* 1. グローバル重視　　　　ローカル重視
	2. 低コスト　　　　　　　　　品質・差別化
	3. 効率的　　　　　　　　　　革新的
	4. 規模の経済　　　　 　　　範囲の経済
	5. 市場原理　　　　　 　　　公平原理
	6. 透明性・遵法性　　　　　　秘匿性

出典：J.パイン（1994）『マス・カスタマイゼーション革命』

９．近年の学会動向

1. 日本貿易学会
	* メガFTAの意義：WTOの現状と課題に関連して(2017)
	* サービスから見た貿易の在り方：新たな成長枠組み(2018)
2. 国際経済学会
* 新たな秩序を模索する世界経済：今後の展望と課課題(2016)
* 比較優位論の現代的意義：『経済学および課税の原理』出版200年記念(2017)
1. 国際ビジネス研究学会
* 中国とこれからの企業経営(2016)
* 第4次革命と国際ビジネス(2017)
1. AIB(The *Academy of International Business)*
* The Locus of Global Innovation(2016)
* The contribution of MNEs to building sustainable societies (2017)
* 学会動向から見るキーワード